サポート情報記事

Questions and Answers のナレッジ ベース検索とページ単位の読み込み

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

検索ボックス 4

ページ単位の読み込み 6

検索、カテゴリ、ページングの相互作用 6

大規模なリスト 7

用語 8

概要

ナレッジ　ベースの価値は、目的の項目をどれだけ速く見つけられるかで決まります。Questions and Answers には、そのための 2 つの仕組みがあります。サーバー上でリスト全体を照会する**検索ボックス**と、数百件の質問があるページでも高速に表示できる**ページ単位の読み込み**です。この記事では、編集者と管理者向けに両方を説明します。何が検索されるのか、ページはどのように取得されるのか、カテゴリや並べ替えとどのように連携するのか、リストが大きくなったときに何を考慮すべきか、です。設定はプロパティ ペインの **動作** グループと **表示** グループにあります。手順については KB10218. Questions and Answers Web パーツの追加と構成方法を参照してください。

検索ボックス

検索ボックスは、**動作** グループの **検索ボックスを有効にする** がオンのときに表示されます (既定ではオン)。閲覧者が語句を入力して **Enter** キーを押すと、Web パーツは　**SharePoint**　リストにクエリを送信し、一致する**公開済み**の質問を表示します。

項目	動作
検索対象の列	**質問** (タイトル)、**回答**、**連絡先** (担当者の名前)
一致条件	*Contains* (含む) - 語句がテキスト内のどこにあっても一致します。大文字と小文字は区別されません
範囲	リスト全体。ページにすでに読み込まれている質問だけではありません
複数の単語	入力した順序のまま、1 つの語句として検索されます
特殊文字と言語	引用符、アンパサンド、山かっこ、非ラテン文字は正しく処理されます。語句は送信前にエスケープされます
未公開の質問	編集者に対しても返されません

項目	動作
結果の上限	1 回の応答で最大 5,000 件の一致する質問

クエリは SharePoint がサーバー上で実行します (3 つの列に対する **CAML** の `Contains` 条件)。そのため SharePoint の検索インデックスには依存しません。1 分前に公開された質問もすぐに見つかり、リストが検索クロールから除外されていても (Web パーツが作成したリストはそうなっています) 問題ありません。

クエリの実行中、Web パーツには *検索中...* と表示されます。一致するものがない場合は、*検索に一致するものがありません* と表示され、全体の一覧に戻す **検索クエリのクリア** アクションが提示されます。検索ボックスの ✖ も同じ働きをします。



検索結果が空の状態

検索の対象に**ならない**もの: 添付ファイルとその内容、コメント、詳細リンク、動画のアドレス、カテゴリ名。カテゴリを探す閲覧者は、代わりにカテゴリ タブを使用します。

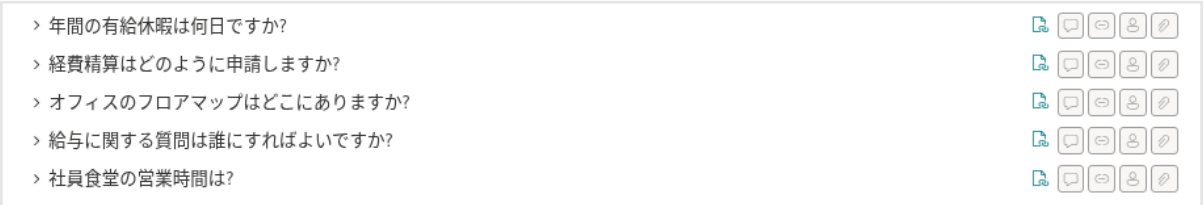
ヒント

回答 のテキストも検索対象になるため、質問のキーワードと、人々がそのトピックについて実際に使う言葉を繰り返した短い回答は、簡潔すぎる回答よりも見つけられやすくなります。自然に読める範囲で、回答に同義語を加えてください (「休暇、休み、年次有給休暇」など)。

ページ単位の読み込み

表示 グループの **ページ サイズ** は、一度に読み込む質問の数を制御します。**すべて**、**10**、**20**、**50**、**100** から選択します。新しい Web パーツは 20 で始まります。このオプションが追加される前に構成された Web パーツは すべて のままです。

ページ サイズが設定されていると、Web パーツは構成された並べ替え順で最初の分を読み込み、さらに質問がある限り、一覧の下に **さらに表示** ボタンを表示します。クリックするたびに次の分が読み込まれて追加され、最後の分の後にボタンは消えます。読み込み中は、ボタンの代わりにスピナーが表示されます。



さらに表示 ボタン

ページングについて知っておくべき特性が 3 つあります。

- **並べ替えはサーバーとクライアントの両方で行われます。** 通常のページでは選択した列と順序を SharePoint に指定し、読み込み後もローカルで並べ替えます。同値の場合の第2キーはなく、同値や同時更新時の順序は保証されません。検索クエリにはサーバー側の OrderBy がなく、取得後にローカルで並べ替えます。
- **ディープ リンクは対象の質問を読み込みます。** ページが `?questionId=N` で開かれ、その質問が最初の分に含まれていない場合、Web パーツはその質問を個別に取得し、最初の分と一緒に強調表示して表示します。 この個別取得は、最初の応答に次のページがあることが示されている場合にのみ行われます。

すべて では、Web パーツはリスト全体を 1 回のクエリで要求します。上限は 5,000 件です。

検索、カテゴリ、ページングの相互作用

- **検索はページングを無視します。** 検索はリスト全体を照会し、すべての一致 (最大 5,000 件) を 1 回で表示します。検索中は **さらに表示** は非表示になります。検索をクリアすると、ページ単位の一覧に戻ります。
- **カテゴリ タブは読み込み済みの質問を反映します。** そのカテゴリの質問が1件以上読み込まれると表示されます。最初に多くのカテゴリを表示したい場合は、すべて、または大きいページ サイズを選びます。どの並べ替えでも、最初のページ

に代表的なカテゴリが揃う保証はありません。
- **グループ化は読み込まれた分の中で適用されます。** **グループ化 → カテゴリ** では、読み込まれた質問が見出しの下にグループ化され、次の分も同じグループに統合されます。
- **検索結果はカテゴリ タブの選択を反映します。** カテゴリが選択された状態で検索を実行すると、そのカテゴリに一致する質問が表示されます。選択したカテゴリに一致がない場合、フィルターは **すべて** に戻ります。 空でない検索中はグループ化が一時的に無効になります。検索は文字列を含むかどうかを Contains 条件で判定し、あいまい検索や意味検索は行いません。カテゴリ名は検索対象外です。

大規模なリスト

SharePoint Online のリスト ビューしきい値は、クエリを実行できるかどうかに影響します。Web パーツの応答上限 5,000 行とは別の制限です。質問のクエリは Published で絞り込み、選択した列で並べ替える場合があります。

- ページ分割は一度に返す行数を減らしますが、SharePoint のしきい値内でクエリを実行できる保証にはなりません。
- 適切なインデックス、フィルター、並べ替えを SharePoint 管理者と確認してください。Web パーツはインデックスを自動作成せず、追加してもすべての検索を保証しません。特に複数行テキストの Answer は、この Contains 検索用にインデックス化できません。
- すべてと検索は、ページ分割のない単一クエリで最大 5,000 行を返します。必要に応じて部門やテーマでリストを分け、代表的なデータで検索とページ分割をテストしてください。

内容に合うページ サイズを選び、初回読み込み、次のページ、フィルター、検索をテストしてください。読み込み時間は、コンテンツ、ネットワーク、SharePoint の応答によって異なります。

用語

CAML

Collaborative Application Markup Language (CAML) は、SharePoint で、リスト、ドキュメント ライブラリ、ビュー、コンテンツ タイプ、フィールド、データ レンダリング要素などのデータ定義オブジェクトを定義するために使用される、大文字と小文字を区別する XML ベースの言語です。たとえば、CAML を使用して、リストやライブラリからデータをフィルター処理して取得するクエリを作成できます。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Online

SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。